

県内企業のものづくりを学ぶ

理数科ではこれまでに大学の先生方や筑波の公的研究機関の研究者、博物館の学芸員など研究に携わっている方々から様々な講義や実習等を受けてきました。10月27日(火)に実施したSSH企業研修は、これまで話を直接聞くことがなかった企業の方々から学ぶことが目的です。岩手を代表するものづくりの研究者や技術者から、生産や製品開発の現場見学や講義をとおして、企業の研究開発や販路拡大にかかわる市場戦略の実情を学びました。研修に参加した理数科2年生は、大学や研究機関等との研究活動の違いを認識しました。そして、岩手から世界に向けて活躍する姿を通して、郷土の誇りと産業や技術について理解を深めました。

企業研修の事後学習として、今後は各企業のものづくりをPRする英語ポスターを作成します。そして、12月16日に岩手大学の先生や留学生等に紹介することを通して、英語でのプレゼンテーション力や外国人とのコミュニケーション能力を磨きます。



見学した企業と見学の概要 (順不同)



企業研修で講義を受ける様子(左)、見学の様子(右)

盛岡セイコー工業(株)

腕時計の部品から生産している工場内を見学した。グループに分かれて、機械化された生産ラインによるクォーツ式のムーブメント製造の過程と、手作業による高級腕時計生産の様子を見学した。

(株)ミクニ盛岡事業所

自動車やバイクのキャブレター製造の有名メーカーであるが、経験を生かしてガスの立ち消え装置や福祉・介護機器、コンシューマ商品など幅広く製造している企業である。進路についての意見交流を行った後、自動車関連機器やガス制御機器などの製造工場内を見学した。

東京エレクトロン東北(株)

世界シェア No.1 を誇る半導体の薄膜を形成する製造装置の製造やクリーンルームの様子などをグループに分かれて工場内を見学した。研究開発の担当者から、半導体の薄膜形成に関する研究についての講義を受けた企業における研究開発を学んだ。

富士フイルムテクノプロダクツ(株)

薄膜塗布技術を写真印刷機器や医療器具、医薬品など様々な事業に応用する企業の理念や概要の説明を受けた。そして、岩手県内の医療機器製造の90%をしめる工場内を見学した。マンモグラフィ検査装置やX線検査に用いる画像診断装置の組み立て工程を見学した。

イーエヌ大塚製薬(株)

消化態経腸栄養剤「ラコール」の製造過程を見学した。酵素を使って食品を柔らかくする技術やその技術を利用した「あいーと」に関する講義を受けた。超高齢社会の日本の現状を学び、食事と疾病の関係について考察をした。